

儲かる生産へ！

今、求められる「最適生産管理」の基本と実践

研修目的

- ① これからの「生産管理」の基礎を学ぶ
- ② コストダウンと顧客満足と同時に達成する方法について学ぶ
- ③ 最適な生産工程と生産管理方法を考える

対象者

工場・製造現場担当幹部・スタッフ

日 時：平成30年5月15日（火）

講 師：株式会社日本能率協会コンサルティング

10:00～17:00

生産コンサルティング本部 本部長

会 場：伊予銀行本店 南別館2F

シニア・コンサルタント

「セミナールーム」

いしだ ひでお

（松山市三番町5丁目10-1）

石田 秀夫 氏



セミナー内容

① これからの「生産管理」の基礎

- (1) 生産管理とは？ → 調達・購買から、出荷・販売までを視野に入れよ
- (2) 生産管理の基本機能 → 良い生産計画＋良いモノの流れとは？
- (3) タイプに応じて管理も異なる → 見込み生産、繰返し生産、個別受注生産
- (4) 機能別計画 → 在庫計画、期間別生産計画、工数計画、資材所要量計画、生産統制
- (5) 生産管理方式の進化とは → ストックコントロールからオーダーコントロールへ ～トヨタ生産方式 VS セル生産方式～

② 経営に貢献する生産管理をめざせ

- (1) 生産管理で期待できる経営インパクト → 利益追求のために果たすべき責任とは？
 - ①製造会社の全体像
 - ②良い会社とは？経営数値的な側面
 - ③なぜ在庫削減が必要なのか？
- (2) 在庫とお金の関係分析（キャッシュ・コンバージョン・サイクル分析）【事例＋演習】

③ 在庫はなぜ悪い？リードタイム短縮はどうするの？【講義＋演習】

- (1) 生産方式によるリードタイム短縮【ポイント演習】
 - ①個別受注生産
 - ②繰返し生産
 - ③繰返し生産（部品・在庫保有）
- (2) 基準リードタイムの短縮と改善視点 → 同期・同量生産と停滞防止
- (3) ロット分割による工程リードタイム短縮例
- (4) 小ロット生産対応の留意点 → 改善対象の絞り込みと集中がカギ

④ 最適な生産工程と生産管理方法を考える【講義＋演習】

～レゴ（ブロック）作りを通じて、工程と生産管理のポイントを考える～

- (1) 標準作業・原単位のたいせつを知る
- (2) 作業時間のバラツキから納期遵守を考える
- (3) 習熟と段取りの重要性を考える
- (4) 工程バランスを考える
- (5) 最適な生産の方法を考える

⑤ ますます重要！品質管理／保証の基本

- (1) 品質管理のプロセス → 企画・設計段階、製造段階、営業段階
- (2) 量産化における品質保証 → 過去の不具合再発をどう減らすか
- (3) 品質コストとは → どこまでコストをかけるか、どうしたら下がるか
- (4) 顕在不良と潜在不良 → 顕在不良にとらわれていないか
- (5) 品質管理／保証の体系 → 品質システムの全体体系

⑥ 不良を出さない、再発させない諸対策

- (1) 不良流出防止のための5原則とは
 - ①クレーム原因と対策書が全員に回る仕組みになっているか
 - ②クレームの処理ルールは決まっているか
 - ③チェックシートはあるか、その項目、基準は明確か
 - ④重要工程に作業標準を掲示しているか
 - ⑤Q C工程表は整備されているか
- (2) 品質を作り込む4 Mとは
 - ①不良を出さない材料、設備、製造方法、人・モラルの条件整備
 - ②バラツキを抑え品質を安定させるには

⑦ タラレバ不具合事例の振返り分析によるQ C D向上作戦【講義＋演習】

- (1) 目標未達事例（品質・コスト・納期）はなぜ起きたか → 不具合についての発生要因なぜ分析
- (2) 過去のタラレバ事例の深掘 → 3つに分けよ
 - ①製品・製造技術面
 - ②管理方法面
 - ③業務プロセス面
- (3) 深掘から再発防止策へ → 仕組み・管理面への改善ポイント、網羅的な再発防止の施策検討

講師略歴

株式会社日本能率協会コンサルティング 生産コンサルティング本部 本部長 シニア・コンサルタント 石田 秀夫 氏

1991年、日産自動車㈱入社。生産技術部門の実務（生産技術開発・国内外の工場立上げ等）を経て、2001年㈱日本能率協会コンサルティングに入社。入社後、生産部門及び開発設計部門のシームレスな収益・プロセス・体質改善活動を行う。近年の主要テーマは工場計画、工場収益改善、生産現場の改善、品質及び原価企画、技術・知財戦略、事業再生等で活動中。

【主著】

上手な問題解決の方法が面白いほどわかる本 共著（中経出版）、ビジネス実務辞典「生産管理」共著（日本能率協会マネジメントセンター）、生産技術者マネジメントハンドブック 共著（日本能率協会）、モノづくり実態調査報告書 共著（同）、その他雑誌、論文等

受講料

IRC会員 16,200円(税込)

会員以外 21,600円(税込)

※お1人あたり、含昼食代

お申込み方法

- ◆下記の申込書にご記入のうえ、FAXもしくはE-mailにてお申し込みください。**Webサイトからもお申し込みいただけます。**
- ◆開催日の前日までに請求書に記載している弊社口座にお振込みください。※領収書は発行いたしません。
- ◆当日キャンセルの場合は、受講料は返金致しかねますのでご了承ください。なお、キャンセルの場合は前日の午後3時までにご連絡ください。
- ◆定員（40名）になり次第、締め切らせていただきます。
- ◆最少催行人数に満たない場合は開催を中止することがございます。

松山市の助成金制度のご案内

本セミナーは「松山市人材育成事業補助金制度」の対象でございます。松山市内に事業所を有する中小企業又は中小企業団体は、受講料の一部について補助を受けられる場合がございます。申請は研修日より前にお済ませください。

詳細につきましては、松山市地域経済課へ。

【TEL：089-948-6783】

お申込み・問い合わせ先

株式会社いよぎん地域経済研究センター

愛媛県松山市三番町5丁目10-1

（伊予銀行本店南別館4階）

TEL：089-931-9705

FAX：089-931-0201

Webサイト：http://www.iyoirc.jp

E-mail：seminar@iyoirc.co.jp(担当：渡邊、川尻、芳野)

受講申込書(兼受講票)		平成30年 5月15日(火)開催		今、求められる「最適生産管理」の基本と実践	
◆該当する方に○をつけてください。				IRC会員 ・ 会員以外	
会社名				修了証が必要な場合は 右枠内に○をつけてください→	
業種			取引店名	伊予銀行 支店	
ご住所	〒				
ご連絡先	TEL:		E-mail		
	FAX:				
申込 責任者	氏名 (所属 役職)				
受講者名	氏 名	所 属	役 職	年 齢	

※受講票は発行しておりません。本申込書は受講票を兼ねております。

ご記入いただいた個人情報は、セミナーに関する用件に限り利用いたします。それ以外の目的では利用いたしません。